



## H28年度、2ヶ月を経て・・・

新年度が始まり2ヶ月、学年毎に大きな成長が見られます。

**年少さん**は幼稚園に慣れ、ゴールデンウィーク明けの「幼稚園よりお家がいい」という退行現象も経て、生活面も徐々に安定し、遊びも広がりを見せています。これまで頑張ってきた反動が見られたり、自我が出せるようになることで友達とのぶつかり合いも増えますが、こうして友達や集団を少しずつ意識しながら人間関係を深め、社会性を育てていきます。この2ヶ月間の日々の経験が自信となって、今後の幼稚園生活を充実させていく大きな礎になります。これまでのお子様の成長を認め、讃え、また励まして頂きますようお願い申し上げます。



**年中さん**は広いクラスでお友達も増え、制服登園となるなど、年少の頃とは異なる生活環境が「お兄さん、お姉さんになった!」という自信や自覚を促してくれます。触れなかった虫に触れるようになったり、登れなかったアスレチックを登れるようになったり、、、「できること」が格段に増える年中さんにとって、1学期後半は遊びや諸活動に大きく挑戦していく大切な時期です。時には失敗や挫折を繰り返す場面もありますが、挑戦する姿勢を認め、暖かく見守って頂きますようお願い申し上げます。



**年長さん**はこれまで積み上げてきた経験をもとに、新たな課題に取り組む「意欲」が成長の源になります。この意欲を維持し、高め、成長につなげていくためには、何よりも日々の安定した生活習慣が大切です。ご家庭におかれましても、十分な睡眠、早寝早起き朝ご飯、挨拶、整理整頓、ハンカチ・ティッシュなど、年少さんから続けている基本的な生活習慣を崩さずに、就学前の最後の1年を過ごして頂きますようご協力をお願い致します。



## 試食会(年長)

年長さんの試食会がありました。食後のアンケートでは大勢の方に調理員さんに対する感謝・励ましの言葉を頂きました。また、内容については「品数、量ともに十分」というご意見が殆どでしたが、「もう1品あるといい」というご意見もありました。確かに、以前行っていたケータリング方式の場合は、給食センターで事前に大量に作られますので、品数は多かったようです。ただ、冷凍食品や加工食品の割合が多かったのが実状です。現在の「手作り」方式では、品数が限られる分、一つの品に多くの野菜が入るようになっていきます。そのため、管理栄養士の計算では、栄養の種類、カロリーは以前と変わらず十分に満たしています。

また、お知らせしている献立に、園の畑でとれた野菜が加わります。ハウス栽培ではないため、収穫が多いときは多く、少ないときは少ないのです。ナスが続くときはナスばかり、大根が続くときは大根ばかり、、、ということもあります。しかし、これが「自然に沿った食」のあり様で、「旬を楽しむ」と言うことなのでしょう。また、食が満ち溢れている飽食の時代、、、大切なことを見失わないようにしていきたいと思えます。

また、「年少～年長まで分量は同じですか?」というご意見もありました。学年により食べる量は全く違いますので、学年ごとに、おかず、ご飯、汁物、すべて異なります。どうしても分けられないおかずの時は全体量で調整しています。また個人差も有りますのでクラスで多少の調整をしています。

貴重なご意見をありがとうございました。今後の給食に反映させていただきます!

## ワークショップ「子育て講座」

今回の子育て講座は、「あいさつ」をテーマに行われました。「あいさつ」は人間関係の第一歩。大切なのはわかっている、でも、できるようにするにはどうしたら? そんな悩みをテーブルごとに出し合いながら皆さんの意見、先輩ママさんのアドバイスからヒントを得られたのではないのでしょうか。参考までに当日配られた資料をお渡ししました。参考になさってください。



## ぴよんこ・・・ありがとう

幼稚園に来て10年、ウサギのぴよんこが天国にいきました。ラブと共に皆に可愛がられ、子ども達の心を癒してくれました。特に入園間もない頃、ぴよんこに救われた年少さんがどれだけいたことか。幼稚園の歴史の1/4と一緒に過ごしてきましたので、思い出も尽きませんが、感謝の気持ちと共に見送りました。亡骸は慰霊碑の横に埋め、土に帰しました。これからも天国から子ども達を見守ってくれることでしょう。ありがとう。



碑の上にはウツギの花がきれいに咲いていました。慣れ親しんだぴよんこのゲージにはお花と遺影が飾られ、子どもたちが手を合わせにきています。

## 春の遠足

春の遠足は晴天に恵まれ、昭和記念公園で各学年それぞれのコースを歩いたり、レクレーションをしたりと、子ども達にとって忘れられない日となりました。ありがとうございました。



## 年長 大地沢登山

大地沢青少年センターから山を登り周遊コースを歩きました。どんどん逞しくなる年長さんです。これなら高尾山も簡単かな！？



## 年少さん・・・

色々な事が出来るようになりましたね。



シャボン玉

レタス栽培。パネルシアターで流れを理解



給食

葉っぱのプール

森のステージ

運動遊び

## ～栽培 いろいろ～

「1～10まで子どもが・・・」  
自主自律を促す労作の  
第一歩です。



年中アサガオ

年長ミニトマト

年中藍



年長ジャガイモ

年長オクラ

延長保育 里芋

スナップエンドウ

## 年長お米作りスタート

本年度もお米作りが始まりました。棚田の一番下の面を使って育てていきます。泥遊びも楽しみながら、楽しんで行っています。まずは、種籾選定、芽だし、種籾まきの作業です。塩水につけて選んだ種籾を水につけ芽出しをしていきます。



## “おカイコさん”を育てます!!

昨年続き、本年もおカイコさんを育てます。横浜のシルク博物館から頂いた1000粒の卵が孵化し、小さなカイコの赤ちゃんが元気に箱の中で桑の葉を食べて育つ様子を見守りお世話をしていきます。最終的に体重1万倍の大きさに生長するカイコには、餌となる大量の桑の葉が必要となりますが、幸いなことに園庭周辺にも桑の木がたくさん育っています。もう少し大きく生長したところで全クラスで飼育をしていきます。最終的には糸をとり、遊びや生活に活かせる物を作りたいと思います。

**驚きのカイコ** カイコは繭は、1本の長い糸でできています。長さは1300～1500mと、スカイツリーの2つ分！驚きの力ですね！

## 年長 佐々木さんと森探検～春

モリゾーキッコロなどでおなじみのプロナチュラリストの佐々木洋さんと森探検。今年1月にも昨年度の年長さんと探検しましたが、今度は春の自然を歩きました。佐々木隊長と歩くと普段見えていなかった自然の不思議や、生き物たちを無数に発見することができます！今回もいっぱい発見！（詳しくはブログで）今や当園のネイチャーアドバイザー的存在の佐々木さん、今後も定期的に子ども達の自然体験に関わって頂きます！11月3日（祝）AMには、佐々木さんの講演会（保護者・先生向け）を当園のホールで行う予定です！虫好きのお子さん、虫嫌いなお子さん、、、共に必見です！また1月にも冬の自然散策を行います。お楽しみに！



## 生き物に対する日本人の考え方

毎日、池や小川、草原、森などで様々な生き物を見つける子ども達。生き物の探し方、つかまえ方も友達と試行錯誤しながら研究を重ねています。「上から網を落とすとすぐに逃げるし、水も濁るから、下に潜らせて待ち構えよう!」とか、「橋の下で網をたてて流れてきたらつかまえよう!」とか。環境先進国のドイツでは、教育の中に「捕まえる」という概念があまりなく、そっと見守ることを尊重するようです。

欧米先進国の幼稚園、保育園を見学しても「部屋で昆虫などを飼う」という光景を目にしたことがありません。

一方、日本では捕まえて、時に触れ合ったり観察したりすることで、生き物に親しみを感じ、慈しみ大切にしようという気持ちが芽生えていく・・・とう考えがあります。

当園でも、できるだけ傷つけないようにそっとすくって観察ケースなどに入れ、お部屋で飼育する場合は、生き物の棲んでいた環境に近い環境設定をして、お世話、観察をし、またもどの場所に戻してあげています。こうした考えは自然、生き物と深い関わりを持ちながら暮らしてきた日本古来の生活様式に由来するのでしょうか。



## 「ドジョウみつけた!」から

みずき組のNくんが「ドジョウ見つけた!」と大騒ぎ。メダカ、オタマジャクシ、カエル、ヤゴなどは毎日たくさん見つけますが、ドジョウは水底の土に隠れているのでそれほど多くは発見できません。「種類は? ホトケドジョウ? シマドジョウ? マドジョウ? ホトケドジョウだったらすごいな!」そんな会話をしながら観察ケースに入れ、詳しく調べることに。絵本の部屋から図鑑を引っ張りだし、これでもないあれでもない友達同士で会話が弾みます。クラスで飼うことにしたのですが、その前に「ひよこ組さんとか沢山の人に僕たちが見つけたドジョウを見てもらいたい」という意向で、職員室前に「どじょうをみつけました(みずき)」の貼り紙をして陳列。現在クラスでお世話をしているところです。その後、カエル池ではドジョウ探しが盛んなようです。こんな心踊る場面が子ども達には必要です。



## お花クラブで年少花壇づくり・・・感謝!

年少さんのクラスの前にプチガーデンを作りました。年中・長とは異なるかわいい形です。これまではプランター栽培でしたが、今後は年間通じて様々な花や野菜を身近に育てていけると思います。ご協力頂きましたお花クラブご参加のお母様、、、有り難うございました!



## 鉄腕クラブ 田んぼの畦塗り

鉄腕ご参加の皆様、お疲れ様でした! 今回は、みなみ野自然塾の橋山塾長をお迎えし畦塗りを行いました。橋山さんの見事な鍬さばきにため息が! 伝統、文化を知るよい機会にもなりました! 子ども達は泥あそびを満喫! 田んぼすべり台で全身泥まみれ! また椎茸のコマ打ちも行いました。ほだ木に使えるクヌギ(幼稚園の間伐材)がたくさんあります! 園だけでは使い切れません! ご家庭で穴開けをしてシイタケ等を育ててみたい方、、、差し上げますのでお声かけ下さい! (椎茸の駒はホームックで、穴開けはご自分で! 梅雨前がおすすめです)



## ～あそびにくる生き物～

日々、思わぬところで様々な生き物に出会います! 例えば、、、



絵本の部屋の入口で 大きなヒキガエル  
テラス前側溝の中に シュレゲルアガイル  
テラス非常ベルに カラスアゲハ  
れんげ組の中に ヘイケボタル

## クラスの木 お気づきでしたか? 年中・年長さんのクラス前のプチガーデンに、クラスに因んだ木が植えられていることを。梅、アジサイ、椿、藤、ミズキ、竹。子ども達に身近に親しんでほしいという願いから植えました。

なお、年少も含め、クラス名は園内に生えている植物からとっています。新しく加わったミズキも園にたくさん自生している木です。

